1.研究動機

郡上には2種類の踊りがあり、私は踊りが好きなので踊りに繋げた内容をしたいと考えました。そこで、コンパクトな鞄があると踊りの時に便利だと思い、使わなくなった浴衣を使用した鞄製作を行いました。

2.研究概要

①浴衣などの生地集め

④パンフレット作成

②製品製作

⑤施設に提供

③町家オイデナーレ出展

⑥まとめ

3.研究内容

・生地集め

浴衣や甚平などクラスの人に声をかけて使わなくなったものもらう。

• 作品製作

型紙を作り、実際にどのくらいの大きさにするか決め、生地を切る。 より頑丈にするために生地を重ねたり接着芯を使ってみたり、改善点を見つけて直していく。

○浴衣(甚平)+接着芯 → シワのない綺麗な生地×浴衣(甚平)+衣類 → 伸縮性が違うためシワができ、綺麗に伸びない

・出展

作ったものを八幡で開催される「町家オイデナーレ」に出展し、地域の方々に見てもらう。

・施設に提供

自分が生活する地域に貢献したいと思い、中学校の時に関わりがあった「ぶなの木学園」さんに提供しようと思った。また、施設利用者の方に、もっと踊りを楽しんでほしいと思った。そして、施設の方にもぜひ作ってほしいと思い、作り方のパンフレットを作り、ショルダーバッグと一緒に提供。

4.まとめ

自分の好きなことと地域をつなげて活動できたので良かったです。作ってい くうちにもっと使いやすくするためにはどうしたらよいか試行錯誤しながら、作れたので良かったです。また、郡上には様々な伝統があるのでこれからも自分のできる範囲で関わっていきたいと感じました。





13番 河島 由茉